

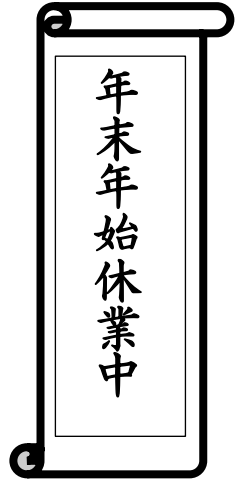
2020 年から 2021 年をむかえるにあたり

もうあと数日で 2020 年が終わります。日本人は年替わりを重要な区切りとして意識してきました。年末年始の行事もそういう区切りの行事だと思います

でもなぜか 今「終わる感」がありません。

もちろん、年末年始の恒例作業は例年通り行っていますし、新年のカレンダーだっでご支援者のおかげで年内に届きました。すべてが終わりから始まりへと向かっています。が何か違います。

頭の中では「いつ終わるんだ」「その事」が頭をよぎり「終わらない年末」です。



昔、日本の時の権力者は天災や権力の移行など世の中に大きな出来事があると「元号を変える」という方法によって強制的に区切りを創りました。

その区切りそのものは、ただの名称ですが、名称を「あらためた」という作業が「忌まわしいものを捨て」「新たな気持ちで何かを生み出す」という区切りとしました。

「区切りとつける」事には「潔さ」が伴ってきます。「潔さ」にはパワーがいます。

そのパワーが前進する力や気力へと昇華したかと思います。

昨年、元号変更をした「権力者」には今一「潔さ」が感じられませんでした。

そのためか元号変更も何事もズルズル…ぐずぐず…ウヤムヤな感じが否めないのは私だけでしょうか？

今、パンデミック渦中の人類はウイルスという生物に奪われる人生を必死に守ろうと立ち向かっています。

ですがそのウイルスも生物としての生存をかけているので必死でしょう。

自然の営みの中の人類に不必要なものに対して人はどのように接していくのがよいのでしょうか？

「排除による克服」「共存による共生」真の正しさはどこにあるのでしょうか？

しかしながらいかなる方法であっても早く「解決」に向ける事は重要です。

状況を注意深く観察し、行動判断をしながら、困難と向き合い「生き続ける人としての覚悟」

ウイルスとの闘いは身体だけでなく「良心、倫理感。人としての心の闘い」でもあるかもしれません。

わかっているけどできない事もあります、

それでも改めるべきは潔く改め、覚悟を持ってまた前進しましょう。

おわらないのではなく終わらせるための何かをそして始める事の重要性にも目を向けましょう。

私自身も今までやろうと思いつつやらなかった事

改めようとして改めてこなかった事

それらを少し整理しています。

そんな事をさらに進める「覚悟」ができた 2020 年 12 月 29 日です。



追伸

一年皆様と共に過ごせる時が少なかったです。ですが、それゆえに「大切」だと実感致しました。

これまでに感謝いたします。そしてこれからもご一緒にと…心から願っています。